

令和 3 年 度

教育委員会定例会（11月）議事録

四條畷市教育委員会事務局

1 開催日時・場所

令和3年11月24日（水）10時00分から11時12分まで
四條畷市役所 東別館2階 201会議室

2 出席委員

教 育 長	植田 篤司
教育長職務代理者	山本 博資
委 員	佃 千春
委 員	河田 文
委 員	尾崎 靖二

3 事務局出席者

教 育 部 長	阪本 武郎	教 育 部 次 長 兼 学 校 教 育 課 長	木村 実
教育部副参事兼学校 給食センター所長	賀藤 久道	学 校 教 育 課 人 権 教 育・教科指導担当課長 兼教育センター長	花岡 純
教 育 総 務 課 長	板谷 ひと美	生 涯 学 習 推 進 課 長	安田 美有希
青 少 年 育 成 課 長	勝村 隆彦	教 育 部 上 席 主 幹 兼 主 任 (生涯学習推進担当)	村上 始
公 民 館 長	神本 かおり	図 書 館 長 兼 主 任 兼 田 原 図 書 館 主 任	田中 学

4 議事録作成者 教 育 総 務 課 木邨 勇貴

5 付議案件

議案 第24号	まなびのプラン（原案）について
報告 第22号	社会教育施設の管理運営に関する評価結果（令和2年度分）について
第23号	令和3年度体育・文化奨励賞の受賞者について

植田教育長

只今から、11月の教育委員会定例会を開催いたします。
四條畷市教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、議事録署名者の指名を行います。

本日の議事録署名者は、尾崎委員にお願いいたします。

それでは議事に入ります

議案第24号 まなびのプラン（原案）についてを議題といたします。
事務局から本件の内容説明を願います。

花岡学校教育課人
権教育・教科指導担
当課長兼教育セン
ター長

議案第24号 まなびのプラン（原案）について

まず、本市の学力向上計画に係る、これまでの経緯についてご説明いたします。

子どもたちの確かな学力の育成に向けて、平成24年度に第1期学力向上3ヶ年計画を策定し、授業改善、家庭学習の習慣化・生活習慣の改善、フォローアップ対策、小中連携・一貫教育を4つの柱として、学力向上対策プロジェクトチームを中心に取組みを進めてきました。また、第2期学力向上3ヶ年計画では、特に授業改善・家庭学習の取組みに重点を置き、第3期学力向上3ヶ年計画では、学習指導要領の改訂に伴い、子ども主体の授業づくり、指導と評価の一体化に重点を置くとともに、学習者用タブレットPCの配備等学習環境の整備を行い、すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けて取組みを進めてきました。

今回、次年度からスタートする新しい学力向上計画を「まなびのプラン」と称し、提案するものであります。内容についてご説明していきます。

まず、まなびのプランの章立てについては、第1章 基本的な考え方、第2章 現状と課題の整理、第3章 本計画の目標、第4章 目標に基づく施策、第5章 計画推進のための指標と評価の大きな5つの章で構成しています。

1ページの第1章 基本的な考え方については、これまでの経緯、社会情勢、めざすべき方向性について記載しております。平成29年文部科学省告示の学習指導要領で学校教育には、①子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくこと、②様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、③複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められていると記されています。これらを踏まえ、従前からの取組みを継続しつつも、本計画の実施により、①Society 5.0時代の到来にむけて、GIGAスクール構想に係る学習者用タブレットPCを含むICTの活用、②個別最適な学び及び協働的な学びの実現、③学習指導要

(花岡学校教育課
人権教育・教科指導
担当課長兼教育セ
ンター長)

領で示された教育課程全体を通して、育成をめざす資質・能力の三つの柱(生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)をバランス良く育成していくことをめざしていきます。

3 ページにある計画の位置づけとしましては、上位計画である四條畷市教育振興基本計画の基本方針1 主体的に考え行動する『生きる力』を育む教育の推進を実現するための施策、確かな学力の育成の推進のための計画と考えております。また、計画の期間としましては、次の学習指導要領改訂までを策定の期間とし、3年ごとの見直しを図ってまいります。

4 ページ、第2章 現状と課題の整理では、市域全体の成果と課題を明確にするために設定した指標の経年変化を記載しております。指標は、大きく3つ、(1)学習内容の定着に関するもの、(2)子どもの学習状況・生活習慣に関するもの、(3)学校の取組み状況に関するものから構成しております。この指標から導きだされた課題は、12頁の2 学力向上3ヶ年計画から導き出された課題から4点で、①低位層の割合、基礎的、基本的な知識・技能の習得、②家庭での学習時間、③課題の設定、情報収集や整理、調査内容の報告、発表など課題解決に向けた主体的な学びの実践、④相手(読む側、聞く側)に伝わることを意識した表現の工夫、また、3 全国学力・学習状況調査等の分析から導き出された課題から4点、①全国と比較したときの学力高位層の割合が少ないことから、更なる子ども主体の授業づくりの推進、②主体的に学習に取り組む態度の涵養、各教科における「問題発見、問題解決」過程を重視した授業改善、③自己調整力や自己認識力の育成、学習を計画することと振り返る活動の充実、④生活習慣の改善を主な改善点として取組みを進めてまいります。

13 ページ、第3章 本計画の目標では、中教審答申、教育振興基本計画、学習指導要領で示されている育成すべき資質・能力、第2章の2 現状から導き出される課題を踏まえ、14 ページにある具体的な指標を、育成すべき3つの資質・能力から整理して設定し、目標として位置付けることとしています。

16 ページ、第4章 目標に基づく施策では、授業づくりや組織的な取組みを視点として作成した別紙の四條畷市 授業づくりスタンダード、確かな学びを育む学校づくりスタンダードについて記載しております。この別紙で作成するスタンダードに年度ごとの研究例や好事例を反映し、内容を更新しながら、市域全体での共有や各校における更なる研究につなげてまいります。

17 ページ、第5章 計画推進のための指標と評価では、まなびのプランの指標と評価方法について記載しております。子どもの変容を見取り市域、各学校のPDCA サイクルによる指導改善を進めてまいります。

最後になりますが、様式については、第3期の学力向上計画で使用してい

<p>植田教育長</p>	<p>たプレゼンテーションソフトの様式から、本市の分野別計画の統一様式に変更しており、構成についてもその様式に準じていることを申し添えさせていただきます。</p> <p>以上、本計画の内容についてご説明させていただきました。ご審議の程、よろしくお願いたします。</p> <p>ありがとうございました。それでは本件につきまして質疑等ありましたらお願いたします。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>内容に入る前に、表紙に記載されている年度について、先ほど3年と言われましたが、令和4年度から7年度になっています。この点についてお聞かせください。</p>
<p>花岡学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>すみません。こちらの記載は令和6年度の間違いです。3年間で見直しを図るということになりますので、令和4年、5年、6年度までになります。修正させていただきます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>その他質問がありましたらお願いたします。</p>
<p>尾崎委員</p>	<p>文言の整理をお願いしたいと思います。まず、12ページの2、3と目次上の表記が違いますので、不一致を改めてください。</p> <p>また、13ページの下から2行め、第2章の2 現状から導き出される課題について、これは、目次も12ページの表記と合っていないですが、おそらく第2章の2と3で指摘をされた現状ということで括られていると思います。括弧をとっていただいて、「現状から見つけられる課題を踏まえ」に修正されたら良いと思います。</p> <p>こちらからは意見になりますが、子どもたちの課題として、四條畷市だけではなく、全国的な問題ですが、記述力に関わる項目を入れていただけたらと思います。参考までに、令和3年の学習状況調査では、国語科では算用数字の2、漢数字の三、漢数字の四の記述問題と、算用数字の3、それから漢数字の三の二がすべて記述問題、算数の最終問題が理由記述問題であったと思います。これも、全国的にまだまだ悪かったという結果が出ています。また、今年度初めて行われたすくすくウォッチの国語の12問と13問、これは旧来の読解力です。ベタな読解力ですが、これについての評価がされていると思いますので、少し勘案されて、記述力についてどのように課題化するかを考えてください。連動して、14ページにある指標にどう取り入れるかもご検討いただきたい。</p> <p>加えて、指標に関して質問があります。指標の思考力・判断力・表現力等</p>

<p>花岡学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>の一つめの中点は学力調査との全国比ということですので、申し上げたようなことも含まれると思うのですが、その下にある3つの項目がすべて話す、聞くという能力についての指標になっていると思います。このことについて事務局の考えがあればお伺いしたいです。</p> <p>ご指摘いただいた文言等の修正については、改めていきたいと思います。記述力の指標につきましても、18ページにある、思考力・判断力・表現力の一番上のところを子どもたちが表現することができる力の指標として考えていましたが、もう少し記述に特化した指標がないか検討してまいります。</p> <p>それと、14ページの思考力・判断力・表現力等の指標のところ、先ほどご質問いただいた、話す聞くの指標に偏りがあるのではないかといいところですが、こちらについても最終的に子どもたちが話すという学習のプロセスを考えた時に、その前段でスピーチ原稿を書いたりといったことが考えられます。ただし、こちらについても先と同様に記述力に特化した指標も考えても良いと思いますので、検討していきたいと思います。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>その他質疑等ありましたらお願いいたします。</p>
<p>佃委員</p>	<p>以前に概略を見せていただいた時から、このような膨大な資料をたくさん添付した素晴らしいプランを完成してくださった労力に、まずは敬意を表したいと思います。</p> <p>そのうえで、全体を通し、これから行うべきことについて、1ページの基本的な考え方一番下の方にあるタブレットPCを含むICTの活用や、個別最適な学びと協働的な学びの実現、育成すべき資質・能力の3つの柱、これらの視点を踏まえると16ページでまとめておられるにも関わらず、17頁の指標と目標が、すべて育成すべき資質・能力の3つの柱だけになってしまっているというのがすごく気になります。</p> <p>これからは間違いなく、ICTの活用というか、タブレットをもとにした授業づくりが大切になるので、これに関する指標が必要だと思います。個別最適な学びとはどういうものなのかという指標、それから、協働的な学びについては何かという指標が必要だと思えます。このあたりはいかがお考えでしょうか。</p>
<p>花岡学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>ご指摘いただいた点、17ページの指標は、3つの育成すべき資質・能力に特化したものになっていると思います。ご意見いただいたICT機器の活用、個別最適な学びや協働的な学びの実現がどのように図られたかという視点について、指標を設け、子どもたちや学校現場の変容を見とっていかねばならないと思いますので、どういった形で盛り込めるか検討していきたいと思えます。</p>

<p>佃委員</p>	<p>気になるのは、指標が多くなると現場が大変になるということです。おそらく市民にも公開されるということを考えると、精査して、もう少し俯瞰的なものでも良いのではないのでしょうか。もちろん、教育委員会が学校に求めることは細かくても良いかも知れないですが、大きな目標のもとに、さらに学校ごとに課題に応じたシートを作るとか、そういう考え方もあると思います。</p>
<p>花岡学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>第3期の学力向上3ヶ年計画の作成時に、学校との意見交換の中で、アンケート内容が膨大になりすぎることを懸念する意見があり、精査した経緯がありますので、こちらもバランスを見ながら検討を進めてまいります。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>基本的な考え方について質問します。教育振興基本計画の中に、主体的に考え行動する『生きる力』を育む教育の推進があります。そこに掲げている施策の方向性について、まなびのプランで触れておかなければいけません。授業改善や学びの保証については記載されていますが、カリキュラムマネジメントやICT利活用計画に基づく学びの充実、読書環境の整備、英語教育、人権教育、キャリア教育についての記述がありません。これらは、まなびのプランに関連してくると思いますが、原案の内容は授業改善や学びの保障に特化されている印象を受けます。学習指導要領でも大きく取り上げているカリキュラムマネジメントによる教育活動の質の向上について、全くふれていないのが気になります。先ほど尾崎委員が言われた読書についても触れられていない。そういうところについて、どのように考えているのか教えてください。</p>
<p>花岡学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>第3期学力向上3ヶ年計画には読書を入れていたと思います。読解力や表現力に関わるため、まなびのプランにも取り入れなければならないと思います。加えて、人権教育、英語教育、カリキュラムマネジメントについても、詳細を記載するとボリュームが大きくなりますので、どういう形で触れるかということについて検討してまいります。キャリア教育についても触れられていないと思いますので、別の形になるのか、こちらに反映させるのかも含め、考えたいと思います。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>まなびのプランに戻りますが、基本的な考え方の中で言いますと、教育振興ビジョンに基づく学力向上3ヶ年計画との関連というので、うまくまとめていただいていると思います。16ページに参考資料として書かれている授業づくりスタンダード、それから、確かな学びを育む学校づくりスタンダードについては、既に教育振興ビジョンの時代から取り上げてきましたので、計画の背景にその部分の記述が必要だと思います。16ページのところで、2</p>

つの取組みを初めて推進していくように記載されていますので、継続的な取組みということを強調していただけたらと思います。

それからもう1点、先ほどの佃委員が指摘された指標の数について、私も現在の内容は多すぎると思います。特に、標準学力検査の高位層の割合が何を表してるのか、また、なぜ必要なのかという点がよく理解できません。高位層の割合が本市の学校教育の指標として相応しいかどうかということについて、検討が必要だと思います。塾の教育などが大きく影響するのではないかと思いますので、そういうところも精査して考えていただきたいと思います。

指標が多いといいながら1点、先ほどのカリキュラムマネジメントに関係するのですが、学校の取組みの部分で11ページに授業改善があります。先生方がどういう視点で授業を行い、どういうところを改善するかについて、市の教職員アンケートの結果を見ると、授業の最後に学習したことを振り返るのが未だ不十分のように思えます。教育振興ビジョンで取り上げていた、めあての提示については、先生方は9割5分ぐらいまで取り組んでいたと思いますので、そういうところの評価も必要だと思います。

花岡学校教育課人
権教育・教科指導担
当課長兼教育セン
ター長

先ほどご意見いただいた、授業づくりスタンダードと確かな学びを育む学校づくりスタンダードについて、背景に継続的に取り組むという視点を盛り込んでいきたいと思います。指標についても、数のバランスを考える必要がありますが、学校の取組み状況に関する指標を入れて、子どもたちの変容だけでなく、先生たちの変容を見取る視点も必要だと思いますので、バランス見ながら考えたいと思います。

尾崎委員

指標に関し、話しをさせていただきます。10ページにある指導計画の作成に当たってはという、いわゆるカリキュラムマネジメントが先ほどから議論になっていますが、非常に難しく、主観が入ることがあります。「この場合はどう思いますか」というアンケートではなく、教育計画の中にどのように書かれてるかで評価ができると思いますし、それを指標化するということも1つの方法だと思います。指標にしなくても、学校教育計画が出されていればそれで評価できるということもあると思います。11ページの振り返り活動についても、どんな振り返りをしているのかという質の問題が問われると思います。これも内省法は適さないので、学校の中で議論していただけたらと思います。それに関連して、授業づくりスタンダードの中に、授業観察シートというのがありますので、例えばICTについても、教師の様子14番にICTを効果的に活用しているという項目があり、これも1つの指標になると思います。ただし、これだけでは客観性が薄いと思いますので、授業を観察し、個別最適の「個」が個性の個ではなくて孤立の「孤」になっていないかなど、そういうところの指摘をすることによって、学校の中で一定の評価をしていただく。そういったことを各学校で指標化していただいて、総合

	<p>的に評価するというのが良いと思います。四條畷の子どもたちに喫緊の課題である点と、全国的に指標化して学びを支えていかなければならない点に絞る。そういう手法で指標を絞っていくことが考えられると思います。これは提案というか要望ですのでお答えいただかなくて結構です。</p>
植田教育長	<p>ありがとうございます。ICTの活用というのは、ICT機器を使っているか、いないかという表層的なものに流れないようにしなければなりません。一部、トライアルで初めているのですが、SAMRモデルというのがあります。調べ学習から始まり、学びのTransformationまでの4段階を示すことで、実際のICTの活用の中身が分かることとなります。結果的にはそういったことが、今ご指摘の校内での指標なのか、市全体としての指標なのかという部分の方向性になると考えます。</p>
植田教育長	<p>その他、質疑等ありましたらお願いいたします。</p>
河田委員	<p>学習状況調査の結果から見ると、大分と改善されているところが多いと思いますが、1点、特に小学校において学校の授業時間以外の学習時間が減っているように思います。また、全くしない子も増えている状況がとても気になります。保護者とお話しする中で、学びの形が変わってきていることを感じながらも、家庭でどのように指導していけば良いのか迷われてる方が多いように感じました。西中学校の例だと思いますが、各家庭に家庭学習ノートの手引きを配布し、家庭学習の時間が延びてきたという事例が学校づくりスタンダードにありますので、これが他の学校にも配布されたら保護者として大変有り難いと感じました。</p>
花岡学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長	<p>ご意見ありがとうございます。家庭学習ノートの手引きにつきましては、西中学校の取組みを好事例として掲載したのですが、全ての学校で手引きを作るのも大変ですので、学校通信でお知らせしたり、校内掲示への掲示等の工夫の中で考えていければと思います。こちらについては、学校の担当者会議を通じ、発信してまいりたいと思います。</p>
植田教育長	<p>その他、質疑等がありましたらお願いします。</p>
佃委員	<p>指標の話に戻りますが、10ページの「学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し」というところや、市独自の教職員アンケートというものが何回か出てきますが、全国学力学習状況調査の学校質問紙調査と違い、全国と比べてどうなのかと問われた時に指標として弱くなるように感じました。客観性をどう担保するかを考える必要があると思いますが、その点についていかがですか。</p>

花岡学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長	市独自の教職員アンケートは、市内小中学校の300人程度の教職員を対象にしたもので、全国と比較しながら市全体の傾向を見ていくことは可能であると考えます。
佃委員	授業改善の指標について、教職員のアンケートから紐解くのであれば、どのような研修をしているか等の内容で現状を把握されてはどうかと思います。例えば、全国学力学習状況調査の学校質問紙調査では、校長のリーダーシップの中に、組織的な研修を行っていますかとかいう質問があります。そういう方が一般的には分かりやすいのではないかと思います。参考までです。
植田教育長	質疑等ありましたらお願いいたします。
佃委員	後ろに添付している2つの資料について、確かな学びを育む学校づくりスタンダードは、大阪府の事業を受け、成果物として素晴らしいものだと思うのですが、その前の四條畷市授業づくりスタンダードは、まなびのプランを実現させるための先生方の手引き書となるものだと思います。そうしますと、先生方がこれを1枚ずつめくって、詳しく研修等で役立てるのはもちろん、授業をする時のものさしとして、どの先生もこれだけは絶対にやりましょうということが分かるような概要版があれば良いと思います。2ページの授業観察シートも膨大な量があります。これも1つだけにまとめたものを各学校で必ず作って学校ごとにやりましょうとか、より推進しやすいものを渡す方が、現場も自分たちで考えましょうとなるのではと思いますが、どのように現場に浸透させようとお考えでしょうか。
花岡学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長	<p>こちらの内容につきましては、学校で取り組んでいる内容を担当者会で吸い上げ、資料作成している経緯がありますので、一定の浸透は図れるものと考えます。ご指摘のように、数ページにわたる手引き書を手元に置いて授業をするのは現実的でないと感じます。ついては、2ページの項目をもう少し精査することも考えても良いと思います。</p> <p>6ページに大阪府教育センターが出しているモデルを畷の授業モデルとして示している部分がありますので、例えばこちらを普段から見やすいところに置いて授業準備をする等を提示することはできると思います。</p>
尾崎委員	授業づくりスタンダードについてですが、まなびのプランを一体的に支えるため、参考資料として添付するところが非常に良いと思います。まなびのプランに全てを記載することはできないので、職員にも市民にも、そういう説明をしっかりといただけたらと思います。授業づくりスタンダードは非常に良くできています。担当者が頑張られたのだと思います。学力の基礎に

	<p>なっているのは学級経営であり、授業観察シートには、生じている状態に関わる項目がたくさん入っているので、とても役に立つと思います。そこから学力はあるんだというふうに、そういうところに注意して、日々の授業、子どもたちを見ていきましょうという提案になっていると思います。ただし、既に配布されているものですが、誤字が多いので、早急になおしていただきたいと思います。</p> <p>7、8頁にかけてが特にすごいと思う点なのですが、授業を逆向きに設計するという考え方が取り入れられています。ただし、右側に南小学校における実践事例が示されていますが、このままだと先生方には少し分かりにくいかも知れません。よく考えられ、簡潔にまとめられています。研修会を開くなど、より具体的なものとして展開していただけたらと思います。また、その他の部分についても、今後、精度を高めていただき、四條畷に合ったものにしていただけたらと思います。</p>
<p>花岡学校教育課人 権教育・教科指導担 当課長兼教育セン ター長</p>	<p>ありがとうございます。8ページの南小学校の実践例についても、今後、各校で行われる研究授業を中心に展開する予定となっておりますので、誤字、脱字も含め、しっかりと内容を見直し、より良いものにしていきたいと思えます。こちらで示したものをそのまま学校に配布するだけでは浸透しにくいと思えますので、佃委員からご指摘もあったように、普段の授業作りにどのように活用できるかという視点を重視しながら考えていきたいと思えます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>他に質疑等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>本件につきましては、事務的な修正にとどまらず、見直し、追加等の検討が必要と判断されますので、議案第24号 まなびのプラン(原案)については、継続審議といたしたいと思えますが、異議ございませんでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>では、本件につきましては、継続審議とさせていただきます。</p> <p>それでは次に移ります。</p> <p>報告第22号 社会教育施設の管理運営に関する評価結果(令和2年度分)についてを議題といたします。事務局から本件の概要説明を願います。</p>
<p>村上教育部上席主 幹兼主任(生涯学習)</p>	<p>報告第22号 社会教育施設の管理運営に関する評価結果(令和2年度分)につきまして、令和3年8月26日に開催しました四條畷市教育委員会指定</p>

推進担当)

管理者選定・評価委員会で2年度の社会教育施設の評価表が決定しましたので、ご報告するものでございます。

施設につきましては、野外活動センター、教育文化センター、歴史民俗資料館、市民総合センター及び市立公民館、市民総合体育館及び体育施設の5施設です。

まず、野外活動センターの指定管理者である特定非営利活動法人ナックにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、利用者数が昨年度に比べて大きく減少するなか、アンケート調査でも施設や職員の対応などが高評価であり、多くのリピーターにもご利用いただいたことなどを高く評価されています。今後は、新たな利用者の開拓や人材育成への取組みを課題として、計画内容をやや上回るため努力していると判断し、評価を4としています。

次に、教育文化センターの指定管理者である阪奈エンタープライズ株式会社につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため利用者数が昨年度に比べて大幅に減少するなか、利用者への予約に関する柔軟な対応、自主事業に安心して参加できる体制を整備した点や、アンケート調査でも施設内の清潔度や職員の対応等について高い評価を得ている点などを高く評価されました。今後は、市との連絡体制のさらなる充実を課題として、計画内容をやや上回るため努力していると判断し、評価を4としています。

次に、歴史民俗資料館の指定管理者である地域文化財研究所・ケントクグループにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、来館者数が昨年度に比べて大幅に減少するなか、市が実施する他機関への資料の貸出しなど、本市の歴史についての広報に全面的に協力した点やアンケート調査でもスタッフの対応や展示解説について高い評価を得ている点を高く評価されました。今後は、さらに教育委員会と共同でSNSなどを活用した貴重な歴史遺産についての情報発信に努めることを課題として、計画内容をやや上回るため努力していると判断し、評価を4としています。

次に、市民総合センター及び市立公民館の指定管理者である四條畷市ラーニングコモンズにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、利用件数が昨年度に比べて大幅に減少するなか、施設管理のハード面については、従前より技術職員が専門家の見地から良好な修繕を行っている点、市の関係部署や市民活動団体との協働による事業の推進など、より多くの人に施設を利用してもらう取組みに努力している点、アンケート調査においても施設利用の感想や職員の対応で高い満足度を得ている点などが高く評価されました。今後は市とのさらなる連携体制の充実を課題として、計画内容をやや上回るために努力していると判断し、評価を4としています。

最後に、市民総合体育館及び体育施設の指定管理者である四條畷クリーン工房SSK共同事業体につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、利用件数が昨年度に比べて大幅に減少するなか、利用者の要望

	<p>にも対応しつつ、自主事業についても安心、安全な運営を行い、参加者への情報発信を迅速に行った点や経営努力により利益をあげ、最終的に応募時の事業計画書での提案どおりに投資を行えたことは評価されました。一方で、館長の不在期間が発生したことにより施設運営に影響があったことやアンケート調査の方法に改善すべき点がみられました。これらのことから、計画内容どおり努力していると判断し、評価を3としています。</p> <p>なお、それぞれの具体的な内容につきましては、評価表のとおりとなっております。また、参考資料といたしまして、それぞれの指定管理者の経年の講評資料を添付しており、市HPにも掲載しております。</p>
植田教育長	<p>ありがとうございます。それでは本件につきまして、確認質問等ありましたらお願いいたします。</p>
山本教育長職務代理者	<p>歴史民俗資料館は、特にスタッフの対応についてほぼすべての方が満足されているという高い評価をいただいていますし、教育文化センターは少数の方が不満を持っておられますが、スタッフの尽力は本当に有り難いと思います。</p> <p>1点質問ですが、市民総合体育館の講評に投資資金総計703万4,095円とありますが、これはどういうものか説明をお願いします。</p>
安田生涯学習推進課長	<p>この投資資金総額とは、基本的には施設の修繕に投資していただいた金額になります。令和2年度におきましては、ブラインドの取替え、トレーニングジムの感染症対策防止に係る設備面の整備など、様々な改善や修繕等を行っていただきました。</p>
山本教育長職務代理者	<p>修繕関係の積立てが700万円程度あるということでしょうか。金額についての説明をお願いします。</p>
安田生涯学習推進課長	<p>700万円は5年間の総計となっております。指定管理者の選定段階において業者から700万円の投資するという提案に沿ったもので、5年間の総計で700万円を超える修繕等をしていただいたという結果になっています。</p>
山本教育長職務代理者	<p>700万の原資は市ではなく、業者と理解したらいいですか。</p>
安田生涯学習推進課長	<p>業者の負担でございます。</p>

山本教育長職務代理者	<p>そうしますと、経営努力によって利益をあげており、市に利益還元ができたとなっていますが、このことに当たるといふ理解で良いですか。</p>
安田生涯学習推進課長	<p>修繕につきましては、一部、市の負担もございますが、利益還元につきましては、別途、各年度収益の50%を還元していただけるという提案内容に沿い、5年間で踏まえて約220万円が市に雑入として還元されたということになります。</p>
山本教育長職務代理者	<p>令和2年度の分については、左側のところに400万円の赤字になったと書かれていますが、それとの関連について教えてください。</p>
安田生涯学習推進課長	<p>令和2年度につきましては、収益として420万円の赤字でございます。平成28、29、30、31年度の4年間に収益が上がっている年度がございますので、5年間で448万円の収益があり、50%還元として約220万円が市に還元されたという結果です。</p>
山本教育長職務代理者	<p>歴史民俗資料館の利用状況についての文章の一部に表記の間違いがあります。また、昨年も申し上げましたが、市民総合センターの利用者数が6,500名程度あるのに対し、アンケート回答が83件しかありません。アンケートが取りにくいということですが、工夫をしていただきたいと思ひます。スタッフの満足度など、必要な項目に加え、イベントに関する希望を聞くなど、工夫をしてもらえればと思ひます。回答率が1%程度のアンケートではアンケートとしての体をなしませんので、少し工夫がいると思ひます。</p>
植田教育長	<p>その他確認質問等ありましたらお願いします。</p>
佃委員	<p>コロナ禍により来館者数が激減するという未曾有の事態のなか、評価が4と3、また、4の評価が多いということで、本当に頑張られたと思ひます。主な苦情・意見等の欄を中心に見せていただき、3点ほど質問させていただきたいと思ひます。</p> <p>野外活動センターですが、新たにホームページ、フェイスブック、インスタグラム等のSNSを活用したことが運営状況の中に書かれておりましたが、主な苦情・意見等にそれらの反響はありませんでしたか。「良かった」、「楽しかった」、「ありがとう」といった意見がほとんどであったと記載されており、他の施設に比べ、まとめたような意見しかないように思ひました。</p>
勝村青少年育成課長	<p>SNS等に特化した意見はありませんでした。場合によってはファックスでの申込みを受け付けるなど、柔軟に対応しておりますので、特に大きなご意見はなかったと聞いています。</p>

<p>佃委員</p>	<p>ありがとうございます。四季折々の映像や画像等を発信していただくと、色々な層が興味を持たれると思いますので、今後ともよろしくお願ひします。</p> <p>続いて歴史民俗資料館ですが、今年度の利用者が学校、保育所を合わせて0人ということで、悲しいと言うしかありませんが、すごく良い施設だと思いますので、学校関係者の活用について、少しずつ再開していくのか、もう少し停止したままなのか、そのあたりを教えてください。</p>
<p>木村教育部次長兼 学校教育課長</p>	<p>身近な場所で地域学習ができる施設ですので、感染症対策を徹底しながら、徐々に再開できるよう、働きかけてまいります。</p>
<p>佃委員</p>	<p>ぜひ、よろしくお願ひいたします。</p> <p>最後に、市民総合センターのご意見の中で、Wi-Fi環境に触れているものがありました。図書館も含め、館内のWi-Fi環境の現状と今後について教えてください。</p>
<p>神本公民館長</p>	<p>公共スペースであるロビー等に関しましては、現在、民間のWi-Fiが1回15分、1日4回まで使える状況です。加えて、今年度の6月から貸出し用のWi-Fiを用意し、サークルや各部屋のご利用時に必要に応じご使用いただいております。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>その他、確認質問等ありましたらお願ひいたします。</p>
<p>尾崎委員</p>	<p>初歩的な質問で恐れ入りますが、2つ質問させてください。一つは、指定期間が3年と5年の2種類あるのはどういうことですか。</p>
<p>安田生涯学習推進 課長</p>	<p>教育文化センターなど、現在、公共施設再編の対象にあがっている施設がございますので、施設再編室や財政部局と相談し、施設に合わせた指定期間を決定しております。</p>
<p>尾崎委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>2つめですが、各施設の目的があると思いますが、例えば歴史民俗資料館等には市民に向けてという大きな目的と四條畷市のことを発信していくという目的があると思います。アンケートによると、神奈川県からも来訪者があり、素晴らしいと思います。指定管理者としては、入館者が多ければ多いほど利益が上がるので、そういった部分と、学校とか市民にもアピールをすることが必要です。両方矛盾はしないと思いますので、教育委員会として、巡回とか指導とか、関与していることが具体的にあれば教えてください。</p>
<p>村上教育部上席主</p>	<p>歴史民俗資料館の展示替えは、基本的に教育委員会の学芸員と指定管理者</p>

<p>幹兼主任（生涯学習推進担当）</p>	<p>の共同で行っており、そういう意味合いでは、毎日ではありませんが、連携しております。また、地域内外への発信につきましても、ホームページや広報誌を含め、協力しております。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>その他、確認質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>（「なし」の声）</p> <p>特にないようですので次に移りたいと思います。</p> <p>報告第23号 令和3年度体育・文化奨励賞の受賞者についてを議題いたします。事務局から本件の内容説明を願います。</p>
<p>安田生涯学習推進課長</p>	<p>報告第23号 令和3年度体育・文化奨励賞の受賞者について、四條畷市体育・文化奨励賞表彰要綱に基づき、受賞者を選定したことを報告いたします。受賞者一覧をご覧ください。</p> <p>体育奨励賞につきましては、山川健介さんをはじめ個人6人に、団体としては田原中学校バトミントン部が1件。文化奨励賞につきましては、個人として瀬戸春雄さん1人を受賞者を選定したことをご報告いたします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>ありがとうございます。それでは本件につきまして、確認質問等ありましたらお願いいたします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>表彰式の日程等、ご案内いただければ。</p>
<p>安田生涯学習推進課長</p>	<p>表彰式につきましては12月5日（日）午前10時からを予定しております。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他、確認質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>（「なし」の声）</p> <p>特にないようですので、その他案件に移りたいと思います。事務局からありましたらお願いいたします。</p> <p>（「なし」の声）</p> <p>委員の皆様から他に何かありましたら、お願いいたします。</p>

(「なし」の声)

本日予定の案件の審議はすべて終了いたしました。
これをもちまして、定例会を閉会いたします。お疲れ様でございました。

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和3年12月22日

四 條 畷 市 教 育 長

植田 篤司

四 條 畷 市 教 育 委 員

尾崎 靖二